

今春卒、内定取り消し5倍

コロナ禍で9年ぶり高水準

全国集計で174人

厚生労働省は15日、高校や大学などを今春卒業して就職する予定だったがにもかかわらず内定を取り消された人が、8月末時点の全国集計で174人にと発表しました。新型コロナウイルス感染症拡大による景気悪化が響き、前年の約5倍に急拡大しました。

東日本大震災が直撃

した2011年3月卒

(598人)以来9年ぶりの高水準。内定取り消し全体の約6割を占める104人がコロナ禍の影響でした。半数超の89人はその後、新たな就職先を確保しました。

産業別では旅行業など「生活関連サービス・娯楽」と「卸売り・小売り」で約5割を占めるなど、新型コロナウイルスの影響が色濃く表れました。全国10地域で見

ると、南関東が84人と

半数近くを占め、九州

(39人)、東北(15人)が続きました。また、入社時期が繰り下げになったのは1

210人。前年度は該当者がいませんでした。2人を除く全員が新型コロナウイルスの影響をいいます。

厚生労働省は「引き続き企業への(内定取り消し回避の)働き掛けと学生への支援の両輪で取り組みたい」としています。